

令和5年度 只見町成人式



9
2023 月号
No. 640
令和5年9月10日

今月の表紙

「令和5年度只見町成人式」

今年度、20歳を迎えた方、迎えられる方、誠に
おめでとうございます。

新型コロナウイルスによる制限等が緩和され、参加
者は、久しぶりに友人と顔を合わせることもでき、嬉
しそうな表情が見られました。(詳細：P2～3)

《特集》

只見町成人式…………… 2～3

只見駅開業60周年イベント開催…………… 4～6

《News&flash》…………… 7

《町の話題》…………… 8～11



おめでとうございます!

令和5年度 只見町成人式

令和5年度只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、山村教育留学生18期生6人を
含む30人（男性15人、女性15人）が出席しました。

始めに渡部勇夫町長から「只見町で培った知識経験を生かし大きく羽ばたいてください。只見町
は皆さんを応援しています」と祝辞が述べられ、その後、成人証書授与が行われました。今年は、
渡部町長から参加者一人一人に成人証書が手渡されました。参加者が成人証書を受け取った後には、
家族やお世話になった方へのメッセージが読み上げられ、日頃の生活では伝えきれない感謝の
思いが伝えられました。

来賓を代表して、大塚純一郎町議会議長から「新たな時代を担う皆さんが20歳を迎えられた
ことを嬉しく思います。一つ一つの努力を堅実に積み重ね、只見町を支えてください」と祝辞が
送られました。

また、「先輩のメッセージ」が目黒誠也さん（只見町役場勤務）から送られ、成人式の最後には、
参加者を代表して、小菅岳人さんが謝辞を述べました。



▲成人証書を受け取る参加者



▲友人たちとの久々の再会に会話も弾みました

謝辞



代表謝辞 小菅 岳人さん

本日は、私たち新成人のために、このような素晴らしい成人式を
催していただき誠にありがとうございます。

かけがえのないふるさと只見町で人生の節目である成人式を迎え
ることができ、本当に嬉しく思います。

また、新型コロナウイルス感染症が収束してきたことで、皆さん
の笑顔をまた見ることができ喜びを隠せません。

私たちは成人を迎えたとはいえ、大人と呼ばれるには、まだまだ
未熟です。

只見町での経験や支えてくださいました皆様への感謝の気持ちを
忘れず、それぞれの目標に向かって努力してまいりますので、今後
とも、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

先輩からのメッセージ



「希望」と「勇気」、そして「生まれ育った只見町」を胸に、困難にくじけることなく、自分を愛し、家族を愛し、打ち込んでいる仕事や学問を愛してください。

不安を感じたら、家族、友人、職場の先輩方に、どんなことでも相談してみてください。自分一人で悩まないでください。

皆さんは20代という第2の青春に入ります。自分の中にある「夢」を大切に、素敵な人生を歩んでください。

「18歳の酒」project



プロジェクト
「18歳の酒」projectとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に地元の“ものづくり”に直に触れてもらいたいという思いにより始まったプロジェクトです。

高校3年生の時に「酒米づくり」と「酒造り」を体験します。できあがったお酒は2年間貯蔵し、プロジェクト参加者に成人式でプレゼントされます。

当日は、参加者を代表して、三瓶日麻莉さんが渡部町長から「18歳の酒」を受け取りました。



夢に向かって

参加した皆様に夢や目標を伺いました。これからも夢に向かって頑張ってください。

※撮影にご承諾いただいた方のみを掲載しております。



只見駅開業60周年 イベント開催!!



1963年の開業から60年を迎えた只見駅の開業60周年を記念したイベントが、8月20日にJR只見駅前と季の郷湯ら里で開催されました。

只見駅前では、開業60周年のお祝いに駆けつけた人達が、会津若松方面から入線してきた列車に手を振るなどし、お出迎えをしました。また、同駅でJR東日本とJR只見線利用促進実行委員会の共催でセレモニーが開催されました。

セレモニーでは、実行委員会長の渡部町長と只見駅を管轄する会津坂下駅の藪田駅長が挨拶をしました。その後、若い人が未来に向かって只見線を繋いでいくという思いを込めて、昨年夏に只見線全駅を自転車ですらった角田杏さんや、昨年10月の只見線全線運転再開日に一日駅長を務めた角田淳紘さん、只見駅周辺の魅力化向上にご協力いただいている埼玉工業大学の黒岩拓真さんなど若い人を交えて、関係者で

くす玉を割り、60周年をお祝いしました。また、只見駅開業60周年記念只見町オリジナルナンバープレートとの交付式も行われました。

引き続き、季の郷湯ら里で、実行委員会の主催で、ローカル鉄道ファンとしても知られ、只見線関連のイベントにも度々お越しいただいている俳優の六角精児さんによるトークと音楽ライブが開催されました。

六角精児さんは、「正直、全線再開できると思わなかったのが驚きました。沿線住民の思いが、JRや国、県を動かしたのだと思います」と話し、「住民の強い気持ちで復活した只見線は、今後、全国で存続が危ぶまれるローカル線の道しるべとなります。奥会津の力を全国に見せつけてやろうじゃないですか」と力強く語りました。

また、ライブでは、自身が作詞作曲した「只見線のうた」を歌い、来場者と一緒に開業60周年を

お祝いしました。

ライブ後は、同会場で記念式典も行われました。

式典では、渡部町長と東日本旅客鉄道株式会社の三林東北本部長が挨拶しました。その後、俳優の六角精児さん、鉄道風景画家の松本忠さん、只見ボランティアしゃくなげ会、塩沢老人会、かかしづくりの会、只見町在住の五十嵐郁夫さんの只見駅の復興や沿線整備活動等への感謝を込め、それぞれに感謝状贈呈が行われました。

また、埼玉工業大学の本吉裕之先生、森沢幸博先生が、只見町の観光スポットを紹介するAR動画プロジェクトについて説明し、今後の只見線周辺地域の活性化に触れました。

他にも、夕方から只見駅前前で駅前広場屋台村実行委員会による「只見駅60歳お誕生日パーティー」が開催され、屋台などで来場者をお出迎えし、夜には記念花火が盛大に打ち上げられました。



▲あいさつをした菌田駅長



▲手を振る他に、横断幕やシャボン玉などもお出迎えに華を添えました



▲くす玉を割った関係者の皆さん



▲オリジナルナンバープレートを受取った皆さん



▲お祝いに駆け付けたJR東日本会津若松エリアのキャラクター「ぼぼべえ」



▲感謝状贈呈を受けた皆さん



▲「只見線のうた」が始まると会場一体となり、只見駅60周年をお祝いました



▲只見線への熱い思いを語る六角精児さん



▲プロジェクトの紹介を行った本吉先生(右)、森沢先生(左)



▲屋台村は子どもから大人まで多くの方で賑わいました

**只見駅開業
60周年記念**

「篠崎隆一 只見線写真展」開催中

篠崎隆一氏が只見線開業以来から撮影し続けた只見線の写真を季節の郷湯ら里ロビーで展示しています。

地域住民に寄り添い、共に走り続けてきた只見線の歴史や懐かしい姿をご覧ください。

会期は10月9日までです。ぜひ一度ご覧ください。



**安全な道路の確保に向けて
令和5年度「県道小林館の川線
改良促進期成同盟会」総会開催**

「県道小林館の川線改良促進期成同盟会」の総会が8月1日に行われ、会員など関係者約20人が出席しました。

総会では、昨年度事業の報告や今年度事業計画についての説明が行われ、県道小林館の川線の未改良区間の改良工事の促進や雪崩発生箇所への防雪対策工事に関することなどについて、引き続き県に対し要望活動を行うことなどが説明されました。

また、南会津建設事務所から、今年度の工事などに関する事業計画説明などが行われました。



▲質疑応答なども行われ、活発な総会となりました

**まちづくりの人材確保のため
「オンライン町村役場
見学ツアー」開催**

公務員に関心のある学生や社会人に向けた「オンライン町村役場見学ツアー」が8月17日に実施され、只見町を含めて10町の紹介が行われました。

この事業は、福島県が町村職員の採用活動を支援するもので、各町村のPRや職員の仕事内容紹介を行い、将来的な職員確保を目的としています。

只見町の紹介では若手職員が、自身の仕事について紹介や働こうと思ったきっかけなどを視聴者に向けて伝えました。



▲これから進路を決める高校生や大学生の他に社会人の方も視聴しました

**「只見町で進路を考えるキツカケに
令和5年度只見高校
企業説明会」実施**

町は「令和5年度只見高校企業説明会」を8月23日に実施しました。

企業説明会には只見高校生24人が参加し、永洗建設株式会社、株式会社社会津工場、株式会社季の郷湯ら里、介護老人保健施設こぶし苑（社会福祉法人南会津会）、只見町役場を訪問しました。

同企業説明会は、これから進路を考える高校生が、町内にどんな企業があり、どのような業務を行っているのかを知り、只見町で就職するキツカケづくりを目的としています。



▲永洗建設の工事現場で、美馬社長から説明を受ける高校生

**「只見町子どもたちのために
たにぞうさんから絵本等を
寄贈いただきました**

「只見の歌（仮）」のレコーディング、振り付け指導などを行っているたにぞう氏（谷口國博氏）が絵本など書籍11冊を只見町に寄贈しました。寄贈いただいた書籍は、町内3保育所に設置し、活用する予定です。この度の寄贈、誠にありがとうございました。



▲寄贈いただいた書籍11冊



4年ぶりの開催 只見町からも参加 ふるさと交流都市柏市で「柏まつり」開催

ふるさと交流都市柏市の「柏まつり」が7月29日、30日に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となりました。

例年、柏まつりのイベントとして開催され、只見町民も参加していた「柏おどりコンテスト」は「柏おどりLIVE」に変わり、コンテスト形式ではなくなりましたが、今回も町民や職員が只見町チームとして参加しました。

また、観光PRブースではふるさと大使の中村さんや所さん、鶴巻さん、ふるさと応援団の方々が只見町のPRにご協力くださいました。



▲柏おどりLIVEに参加した只見町チーム

只見線に子どもたちのアイデアを 「只見線こども会議事前学習会」開催



▲事前学習会に参加した子どもたち

只見線こども会議の事前学習会が7月30日に開催され、子どもたちがJR只見線の現状や課題について理解を深めました。

只見線こども会議は町民有志の只見線くろすひるずが主催しており、只見線全線運転再開から10月で1年を迎えるのに合わせ、子どもたちのアイデアを只見線の復興に生かすことを目的としています。

なお、本会義は9月16日に開催予定です。詳細については9月8日発行のおしらせばんへ掲載のチラシをご覧ください。

ただみ・モノとくらしの ミュージアム 入館者5,000人達成

昨年7月に開館した「ただみ・モノとくらしのミュージアム」の入館者数が、8月12日に累計5,000人を超えました。

5,000人目の入館者は、埼玉県からお越しの海藤めぐみさんで、海藤さんには編み細工などの記念品が送られました。



▲入館5,000人目の海藤さん。ご来館ありがとうございました

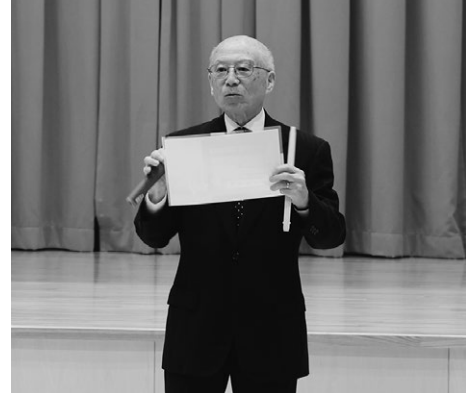
幕末最後のサムライ 河井継之助をしのぶ

「河井継之助墓前祭」、「河井継之助を語る会」が行われました

「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に塩沢医王寺で行われました。

墓前祭は、渡部仁一実行委員長から、関係者や参列者へのお礼の言葉が述べられた後、焼香や読経が行われました。その後、渡部町長から追悼の言葉が述べられました。

また、墓前祭終了後は、「河井継之助を語る会」が只見公民館で開催され、飯塚恒夫さんの発声で献杯が行われました。その後、渡部町長や、長岡藩主17代当主の牧野氏、慈眼寺住職などが河井継之助に対する思い等を話されました。



▲河井継之助を語る会にご参加された牧野氏

生誕百年皆川雅舟展に墨雅会員が来館

墨雅会の皆川恭舟代表から町に寄附



▲渡部教育長に寄附金を贈られた皆川代表

墨雅書道会（郡山市）の皆さんが、ただみ・モノとくらしのミュージアムを訪問し、現在開催中の企画展「生誕百年 皆川雅舟展」を観覧しました。

墨雅書道会の皆さんは、作品一点一点を関心深くご覧になりました。

また、来館された際に、墨雅会の皆川恭舟代表から、「ミュージアムの運営と文化振興に役立ててほしい」と町に寄附金が贈られました。

墨雅書道会は、皆川雅舟（政一郎）氏が創設した組織で、現在は皆川恭舟氏が代表を務めています。

子どもたちの頑張りが届きました

剣道スポ少、ソフトボールスポ少 優勝

只見剣道スポーツ少年団は、第53回シモン旗争奪全会津少年剣道大会団体1部で優勝しました。また、只見ソフトボールスポーツ少年団は、第1回全会津小学生男子交流ソフトボール大会で優勝しました。

優勝おめでとうございます。これからも練習に励み、快進撃を続けてください。



▲優勝した剣道スポーツ少年団（左）とソフトボールスポーツ少年団（右）

地域環境の美化活動が認められました

明和婦人会「“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰」受賞

明和婦人会が「“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰」を受賞し、8月17日に受賞報告に役場を訪れました。

今回の顕彰では、明和婦人会が「フラワーライン作戦」と題し地区内の通学路など公共道路沿線に花を植える活動を行い、地域環境の美化活動に積極的に取り組んでいることや、長年の活動期間などが認められ受賞となりました。



▲受賞報告に役場を訪れた大竹やいさん(中)、梁取芳枝さん(左)

満百歳を祝う 渡部敏子さんに知事賀寿を贈呈



▲渡部敏子さんご家族の皆さん

渡部敏子さん（黒沢）への知事賀寿贈呈式が8月17日に行われました。知事賀寿は、県内で百歳の誕生日を迎えた方に贈呈されており、渡部さんは8月15日で百歳を迎えました。

贈呈式では、県の南会津保健福祉事務所から賀寿状と会津塗木杯が贈呈された後、渡部町長をはじめとする町内の皆さんから祝金や祝品が渡されました。

渡部さんの長生きの秘訣は、大好きな食事を好き嫌いなくしっかり食べることで、他にも歌や話すことが好きで、皆さんと会話を楽しまれるそうです。

本当におめでとうございます。

八十里越の早期開通を願って

第10回「R289フルコース踏破」開催

4年ぶりとなる「R289フルコース踏破事業」が、7月29日、30日に開催され、三条市と只見町の高校生24人が新潟県庁からいわき市勿来の関までの区間約300kmを自転車で踏破しました。

ゴール地点に着いた高校生たちは、その場にいた皆で達成感を感じ、踏破成功を喜び合いました。



▲懸命にタスキをつなぎました



▲晴天の夏空の下、自転車をこぐ高校生

希少なバッタも観察しました

ブナセンター自然観察会「夏のバッタ観察会」開催

「河原のバッタ観察会」が7月24日に、「草原のバッタ観察会」が7月30日に、それぞれ只見町ブナセンターの主催で開催されました。

河原では、河川改修工事により、全国的に数を減らしているカワラバッタを観察し、草地では、山間部のバッタであるイナゴモドキや、自然度の高い草地でしか見られないナキイナゴを観察することができました。また、このような珍しい種だけでなく、オオカマキリやトノサマバッタなどの大型種も見つけることができ、子供たちは夢中になって採集していました。

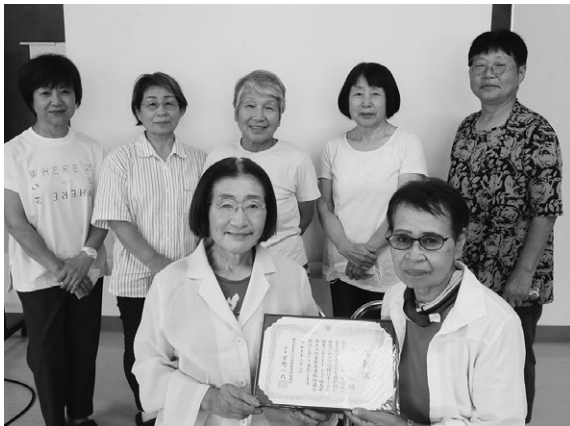


▲バッタを採集する参加者

長年の健康づくり活動が認められました

星美弥子さん「福島県食生活改善推進

連絡協議会会長表彰」受賞



▲受賞した星さん（前段左）と只見町ヘルスマイトの皆さん

星美弥子さん（小林）が「福島県食生活改善推進連絡協議会会長表彰」を受賞され、贈呈式が8月3日に朝日公民館で行われました。

星さんは只見町食生活改善推進委員会の会員として、町の健康づくり活動を20年以上にわたり尽力され、平成28年から令和2年までは、副会長、会長を務められました。その長年に渡る積極的な健康づくり活動が評価され今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

4年ぶりの開催「明和地区大盆踊り」開催

「明和地区大盆踊り」が8月15日に明和青年団の主催で開催され、帰省者をはじめ町内外多くの方が来場しました。

会場では、明和青年団や商工会青年部、味付マトンケバブカフェの協力による出店などが来場者をお迎えし、只見中学生がお囃子の演奏をするなどしました。

また、恒例のお楽しみ抽選会が行われた他、最後には目黒邦友さんの協力で花火が打ち上げられ、只見町の夏の夜空を彩りました。



▲大勢の方がご来場されました

広報ただみ診療所

朝日診療所の面会に関するお願い

朝日診療所看護師長

馬場 トシ子



まだまだ暑い日が続いておりますが、今年も残暑が厳しくなる予想ですので、体調管理には充分注意してください。

9月には国民の祝日の一つである「敬老の日」が第3月曜日にあります。「多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨として制定されています。日頃はなかなか思いを伝えることが出来ないものですが、感謝の気持ちを伝える良い機会かもしれません。

診療所に入院している患者さんと接していると、「母ちゃんどこさ行った？姿が見えないが、こわぐなあってねえーか？」「こめら寒くねえーように布団かけたか？」などという言葉が良く聞かれます。記憶障害や理解力・判断力の低下があったとしても、家族に対する思いやりの心は続いているのだとつくづく感じます。また、表情の変化が乏しい患者さんでも、ご家族と面会して笑みを浮かべる光景を目の当たりにすると、ご家族と過ごす時間が特別なものであると感じられます。

診療所の面会についてですが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことを受け、面会ルールを見直しました。ただ、診療所には免疫力や体力の低下した高齢の患者さんが入院しているだけに、感染すると重症化する危険性があります。

また、医療従事者に感染者が出ると、たちまち人手不足となります。このような理由により、コロナ前のように全面解除には至っておりません。入院手続きの際に、面会ルールについて説明がありますので、ご確認ください。職員も今まで通り、体調管理や感染対策に努めております。制限があり不安や不便に感じることもあるかもしれませんが、感染リスクを抑えるためにも、面会ルールに従って面会をお願いいたします。ご理解とご協力のほどよろしくをお願いいたします。

最後になりますが、診療所では看護師が不足しております。現在、ギリギリの人数で看護業務を行っておりますが、1人でも欠けてしまうとさらに深刻な状況に陥ってしまいます。診療所で働ける方を募集しておりますので、お知り合いの方がおられましたら、是非お声がけをお願いいたします。

地域おこし協力隊として Vol.105

只見町教育振興協力隊 原永 円香



勤務地であるただみ・モノとくらしのミュージアムは、昨年の7月22日に開館しました。開館から1年があっという間に経ち、8月12日には入館者5000人を突破しました。5000人目の入館者には記念品を贈呈するなど、ささやかなセレモニーを行なうことができました。この夏は、近所の子もたちが勉強をする場所を求めて来館してくれることもありました。土日に開いている公共施設がない地域ならではの感覚を感じています。展示会の見学だけでなく、気軽に遊びに来てもらえるような施設になっていったら良いと感じた出来事でした。

現在、第2回企画展として「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴の書人」を開催しています。仕切りのない広い展示ホールが、屏風をはじめとする書作品で埋められています。昨年度開催した2つの展示会は、どちらも民具をテーマとしたものでした。自由に展示台を動かすことの出来るホールは、テーマに合わせて配置を変えることが可能です。もし両方見に来てくださった方がいるようでしたら、その雰囲気の違いに驚かれたのではないのでしょうか。町内にある気軽に来ることのできる博物館の一つとして、只見町に関するさまざまなテーマの展示会を実施していきたいと思っております。

町民の皆さんは、博物館や美術館へどのくらいの頻度で行かれるでしょうか。博物館めぐりが趣味の私は、平均すると週に3～5個くらいの展示会を見に行っています。只見町は、博物館や記念館が5つもある町です。規模の大きな施設は遠いものの、地域に根ざした施設で楽しむことのできる地域だと感じています。奥会津地域で同時開催される連携展も今年で2回目を迎えています。ただみ・モノとくらしのミュージアムも含め、町内、町外の施設に、1度だけでなく何度も足を運んでもらえると嬉しく思います。

発見!

たからモノ ただみの文化遺産

第6回

こくぞうぼさつ 梁取の虚空蔵菩薩像

室町時代の貴重な文化遺産をどう守る



梁取の虚空蔵堂

只見町梁取の成法寺の裏山に登ると岩窟があります。そこには虚空蔵堂があり、2 軀（体）の虚空蔵菩薩像が祀られています。室町時代後期と江戸時代初期の作で、只見町指定重要文化財です。虚空蔵菩薩とは、虚空（宇宙）がすべてを蔵するように無限の智恵と福德を人々に与える菩薩とされます。

文化6年（1809）成立『新編会津風土記』（梁取村）には、虚空蔵堂は村の北西、2町（約220メートル）の岩上にあり、成法寺の管理、建立時期は不明とあります。虚空蔵堂には正徳4年（1714）の鰐口が懸けられています。現在の堂は文政元年（1818）の再建で、軒下に二重の垂木が並び、両側に組物と彫物が装飾され、小さいながらも見事な仏堂建築です。



▲岩窟の虚空蔵堂



▲虚空蔵堂の二重垂木・組物・彫物



▲坐像（室町時代後期）の顔容

次に虚空蔵菩薩立像は、江戸時代初期、17世紀前半の作です。透彫鍍金の宝冠をいただき、眼はガラスの玉眼で、体は材を彫り出してはぎ合わせる寄木造です。腕は取れて下に置かれています。顔の頬は緊張感があり引きしまった優美な表情で、腰をひねったポーズの立ち姿です。高い技術が見られ、中央の仏師の作と考えられます。



▲立像（江戸時代初期）の顔容



◀虚空蔵菩薩像 坐像と立像

虚空蔵菩薩像

2 軀の菩薩像のうち、まず、虚空蔵菩薩坐像は、室町時代後期、16世紀前半の作です。宝冠から頭・体まで一つの用材から彫り出された一木造で、足を交叉して坐

っています（結跏趺坐）。蓮華の台座は各段が一材から彫り出されています。両腕が失われていますが、本体から台座まで室町時代のもので伝来する例は少なく価値を高めています。素朴で愛らしい表情が見られ、旅をする行者系の仏師による作と考えられます。

破損をくい止め保存措置を

虚空蔵菩薩像は400年近く山上の岩窟で風雪に耐えてきましたが、湿気や虫食いによる損傷が著しく見られます。表面に見える多くの黒点はコウモリ糞の付着で、今後さらに付着してしまいます。美術的・歴史的価値の高い文化遺産が、現状のままでは損傷が進んでしまいます。それをくい止めるために、適切な施設で滅菌燻蒸の文化財保護にもとづいた専門的な保存措置をしなければなりません。

岩窟から地域を見守ってきた仏像ですが、地域の方だけで仏像をお守りするのが難しくなってきた場合は、これ以上破損をくい止め、後世に伝えるために、公立博物館でお預かりする方法もあります。保存しながら拝観していただくのも公立博物館の役割です。

文：久野俊彦
写真：原永円香

ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報



第2回企画展「生誕百年 皆川雅舟展 只見が生んだ渾朴の書人」

会期：2023年7月11日(火)～2023年10月9日(月・祝)
場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール

入館無料



奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」

会期：2023年7月22日(土)～11月12日(日)
場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム ふれあいホール



ただみ・モノとくらしの
ミュージアム



町民文芸

只見短歌会 令和五年八月詠草

思ひ出もうすれて来しが友として行きし佐渡へのおけさ懐かし
馬場 八智

草とりの手を休めれば朴ほおの木の花の香りに疲れをいやす
目黒 富子

猛暑なり汗ばむ日々伊南川で子供の頃の水あび思ふ
関谷登美子

手を伸ばし抱つこの要求我が息子レッサーパンダの威嚇のやふに
立花 奏音

時をりに母の遺影を置ひてみる常座りぬし椅子なればこそ
新国由紀子

娘こや孫を見送りし後に送り火を夫つまと二人でたきあゐる夕べ
渡部ヨリ子

窓外の棚に止まりし赤トンボの動き見てゐて飽きることなし
故 新国 洋子（遺作）

只見俳句会 八月定例会

天高し六十年目の只見線
終戦日祖母の涙も遠くなり
信

夏休みまだまだあるよ余裕だよ
あさがおを放れず見入る一年生
都

花冷えや浅いねむりの羊たち
温泉の窓に張りつくシャボン玉
味代子

紫めく馬鈴薯の花コーヒー飲む
峠の豪雨車で抜けて梅雨の明け
真理子

えごの花降りけもの道照らすごと
田舎路や鳥居の先の夏薊
紺 青

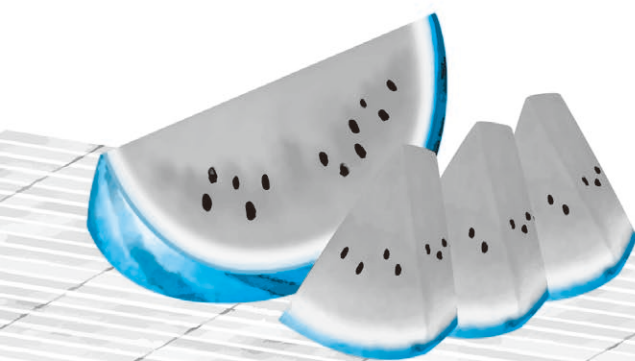
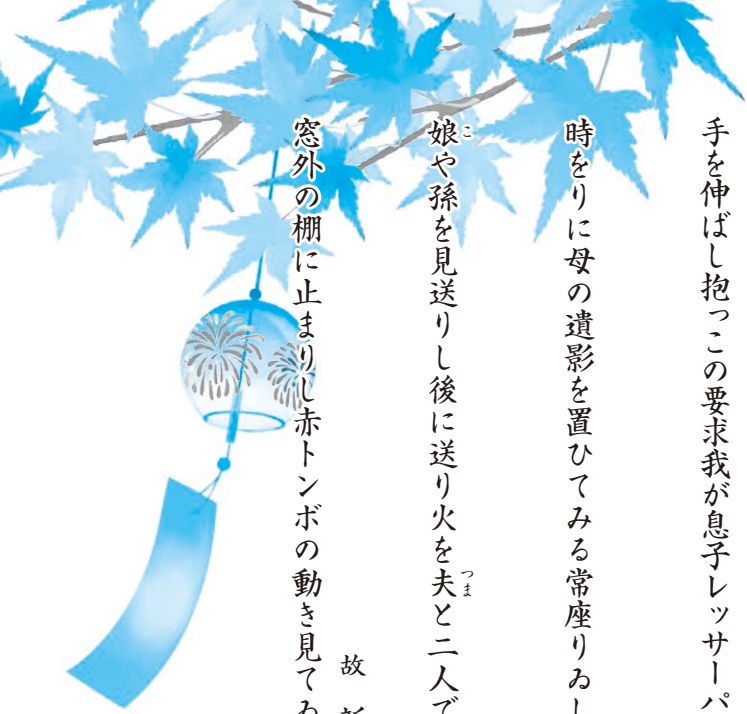
関門とおぼしき跡や椿の実
満天星や農学校の碑を照らし
恒 夫

日高俊平太 指導

田子倉湖ぐるつとめぐる青あらし
全山のなびく葉裏やダム堰堤
礼

蜂蜜の味たしかめるヨーグルト
炎天や瓜の間の土の色
一 穂

猛暑日や孫の寝返りして安堵
坂道を孫と競争雲の峰
修 一



今月のお知らせ

試験

福島県職員 採用選考予備試験(獣医師)

【採用予定職種及び採用予定人員】
獣医師 9名程度

【受験資格】

昭和39年4月2日以降生まれの者で、獣医師の免許を有する者または取得見込みの者

【受付期間】

令和5年10月6日(金)必着

※受付時間は平日午前8時30分～午後5時15分

【試験日及び場所】

○試験日時

令和5年10月20日(金)

○場所

福島市杉妻町2-16 福島県庁本庁舎2F 第一特別委員会室

【採用予定日】

令和6年4月1日

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課		
町民税務係		☎82-5110
生活安全係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
交流推進課		
観光係	商工労働係	☎82-5240
移住交流係		
新エネルギー推進室		☎82-5220
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所(歯科)		☎84-2221
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

【申込用紙の交付及び請求】

申込案内・提出書類については福島県ホームページ (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01125c/senkos57.html>) からダウンロードできます。

詳細につきましては、次の問合せ先にご連絡ください。

【問合せ先】

- 福島県保健福祉部保健福祉総務課
☎024-521-7219
- 福島県農林水産部農林総務課
☎024-521-7391

お知らせ

災害(防災)情報サイトを ご活用ください

只見町ホームページでは、災害(防災)情報サイトを公開しています。気象情報や防災情報、防災関連サイトを掲載している他、災害発生時には、緊急情報等の発信も行います。平常時から、災害が発生した場合の避難経路や持ち物などの確認をお願いします。

なお、災害(防災)情報サイトは、次のURLからアクセスできます。
<https://www.town.tadami.lg.jp/emergency/index.html>

また、次のQRコードをお手持ちのスマートフォンなどで読み取っていただくこともアクセスできます。



聴覚障がい乳幼児子育て相談

福島県立聴覚支援学校会津校では、聴覚障がい乳幼児子育て相談「みみ

税 今月の納期

9月25日までに
納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)

「ちゃん教室」を開設しています。

言葉を育むには早期からの楽しいかわりが大切です。お子さんの様子や相談内容に応じて、一緒に遊ぶ中でコミュニケーションを促し、聞く姿勢や言葉を育てるお手伝いをします。

【日時】

平日 午前9時～午後4時
※年末年始及び祝日は休み

【ところ】

会津若松市一箕町大字敦賀字下柳原102

聴覚支援学校会津校内「地域支援センターみみらんど 會津」

【対象】

きこえやことばに心配がある乳幼児とその保護者

【お問合せ】

電話(FAX兼)・・・
0242-22-1286

メール

fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp



広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆三条市と只見町の高校生が「R28 9フルコース踏破」を酷暑の中、自転車です無事完走しました。

4年ぶりの今回のイベントは例年以上に暑いため、高校生の健康管理や交通安全にいつも以上のご苦労があったことと思います。

高校生の頑張りはもちろんですが、三条市はじめ約300キロの沿線から物心両面で応援いただいた新潟、福島両県の皆様、そして事務局関係者の皆様に心から敬意を表したいと思います。

また、このイベントは去る8月25日に東京のグランドアーク半蔵門において開催された「国道289号線建設期成同盟会」総会の折りにも報告されました。

総会後はこの内容を含む要望書を新潟、福島両県の国会議員はじめ、国土交通省技監、道路局長、大臣官房審議官等に、滝沢市長と大塚町議会議長等と共に手渡し、国道289号改良事業の促進について、しっかりとお願いしてまいりました。高校生一人ひとりの頑張りが国、県の道路行政に確実に生かされています。

町長スケジュール〈8月分〉



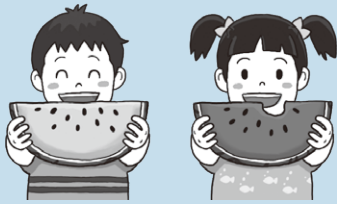
- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 1日 | J R東日本東北本部企画総務部長来庁、県道小林・館の川線改良促進期成同盟会総会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会、小林集落座談会 | 20日 | 只見駅開業60周年記念イベント、同式典、同祝賀会 |
| 2日 | 福島県町村会定期総会決議事項に基づく国への要請、町村長交流会(東京都) | 21日 | 議会全員協議会 |
| 3日 | 町村長中央研修会(東京都) | 22日 | 坂田集落座談会 |
| 5日 | D e N A岡村社長面談(横浜市) | 23日 | 只見・金山・昭和・三島県道改修促進期成同盟会総会、西部コンサルタント社長来庁 |
| 7日 | 南会津を拓く重点要望県要望(福島市) | 24日 | 南会津地方環境衛生組合議会定例会、南会津地方広域市町村圏組合議会定例会、電源開発(株)水力発電、デジタルイノベーション担当役員来庁、布沢集落座談会 |
| 8日 | 南会津建設事務所現地説明会、政策調整会議、塩ノ岐集落座談会 | 25日 | 国道289号線建設期成同盟会総会、同事業説明会、同中央要望(東京都) |
| 9日 | あおいすず上野代表来庁、全会津商工観光推進大会(三島町) | 27日 | 南会津地方防災訓練並びに只見町総合防災訓練 |
| 10日 | 二軒在家集落座談会 | 28日 | 南会津会理事会(南会津町)、南会津地方振興局長との意見交換、議案検討庁議、淑徳大学黒羽氏来庁、文化協会との懇談会 |
| 15日 | 只見町成人式 | 29日 | 会津総合開発協議会福島県要望(福島市) |
| 16日 | 河井継之助墓前祭、時事通信社福島支局長来庁 | 30日 | 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会総会、品川成年後見センター来庁 |
| 17日 | 明和婦人会来庁(うつくしま、ふくしま。環境顕彰受賞報告)、百歳賀寿贈呈式、J R東日本東北本部企画総務部長来庁、9月補正予算町長査定、大倉集落座談会 | 31日 | 辞令交付式、一般質問検討庁議 |
| 18日 | 議会総務常任委員会、同経済常任委員会 | | |

町民の消息

(7月26日～8月25日届出分) 敬称略

■おくやみ申し上げます

渡部 安喜	91歳	蒲 生
小林 ハツエ	94歳	布 沢
船木 貞儀	92歳	長 浜
渡部 昌枝	83歳	二軒在家
五十嵐 徳子	92歳	長 浜
藤田 鉄男	94歳	只 見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和5年8月1日現在

人 口	3,731 (-5)
男	1,850 (-5)
女	1,881 (±0)
世帯数	1,585 (+1)
高齢化率	48.9%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 2 出生 1 死亡 6

▽今年度、20歳を迎えられた方、迎える方、おめでとーございませす。希望を胸に人生を謳歌して下さい。

▽只見駅が開業60周年を迎えました。篠崎氏の写真には、只見線を走る貨物列車に会津みらはず柿を積み込む様子や通勤通学のために只見線に乗り、只見線が沿線住民の生活を支えてきたことが見て取れます。ぜひ皆さんもご覧になってみてはいかがでしょうか。(小林)

あとがき

朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★極楽征夷大將軍



【著】垣根 涼介(文藝春秋)

謎に包まれた室町幕府初代将軍、足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。動乱前夜、北条家の独裁政権が続いて、鎌倉府の信用は地に落ちていた。足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の粛清から足利家を守ろうとする。やがて後醍醐天皇から北条家討伐の勅命が下り、一族を挙げて反旗を翻した。一方、足利家の重臣・高師直は倒幕後、朝廷の世が来たことに愕然とする。後醍醐天皇には、武士に政権を委ねるつもりなどなかったのだ。怒り狂う直義と共に、尊氏を抜きにして新生幕府の樹立を画策し始める。

やる気なし 使命感なし 執着なし なぜこんな人間が天下を獲ってしまったのか？

★一年一組せんせいあのね



【選】鹿島 和夫

【絵】ヨシタケシンスケ
(理論社)

鹿島和夫と担任した小学校一年生たちとの、いわば交換日記であった「あのね帳」からセレクト。笑いをさそうもの、胸をうつもの…こどもたちから生まれた生のことばがヨシタケシンスケの絵とタグを組み、新たに心をゆさぶる。

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章



(写真・文 吉岡義雄)

ヒゲナガヒナバツタ (学名: *Schmidtiacris schmidti*)

【バッタ目バッタ科ヒナバツタ亜科】



▲ オスの成虫

国内では東北と中部の数県でしか見つからないとても珍しいバッタです。オスの触角が長く発達することが名前の由来です。また、雌雄ともに胸部の側面が白いことで他のヒナバツタの仲間と見分けることができます。ツルヨシがまばらに生える砂礫河原（砂と礫石で覆われた河原）での生息が確認されています。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「只見のトンボ」

会期：2023年7月29日(土)～11月27日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー